

平塚フィルハーモニー管弦楽団

HIRATSUKA
PHILHARMONIC
ORCHESTRA第33回
定期演奏会2024
6.16
sun.Tsuyoshi Taberi
指揮：田部井 剛

チケット

¥1,000 (全席自由)

前売券 ひらしん平塚文化芸術ホール
☎0463-79-9907(4/1より
販売開始)サクラ書店 (ラスカ平塚5F)
☎0463-23-2751バンダレコード(ららぽーと平塚3F)
☎0463-73-8353

ラディアン(二宮)☎0463-72-6911



電子チケット

<https://teket.jp/9316/32171>

当日券 12:30より会場窓口にて販売開始

ひらしん平塚
文化芸術ホール
大ホール指揮
田部井 剛ピアノ独奏
三船 優子W.ルトスワフスキ：小組曲
W. Lutoslawski : Mała SuiitaS.ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番
S. Rachmaninov : Piano Concerto No. 2J.ブラームス：交響曲第4番
J. Brahms : Symphony No. 4

Yuko Mifune

ピアノ独奏：三船 優子

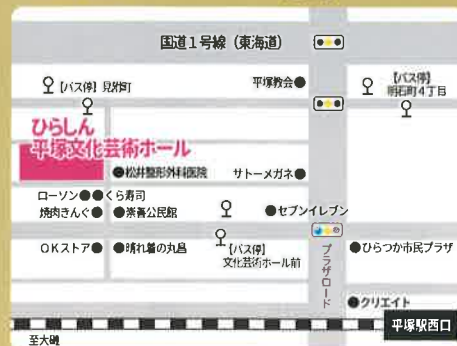
開場13:00 開演14:00

※ 賛助会員様のみ12:45から入場できます。
※ 未就学のお子様の入場はご遠慮ください。

主催 / 平塚フィルハーモニー管弦楽団

後援 / 平塚市・平塚フィルハーモニー管弦楽団賛助会
(公財)平塚市まちづくり財団・平塚市教育委員会

お問い合わせ先

☎ 080-3095-3763
✉ hiratsukaphil@yahoo.co.jp
🌐 <https://www.hiratsukaphil.com/>ACCESS JR「平塚駅」西口より徒歩8分
※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

Piano 三船 優子

Yuko Miyazawa



幼少時代をアメリカ・ニューヨークで過ごす。ジェローム・ローエンタール、井口秋子、奥村洋子、安川加寿子、マーティン・キャンニンに師事。'88年第57回日本音楽コンクール第1位。桐朋学園大学首席卒業後、文化庁派遣にてジュリアード音楽院に留学。'91年フリーナ・アツワバック国際ピアノコンクール優勝、翌年ジュリアードソリストオーディションでも優勝、卒業記念コンサートでソリストとして飾る。アメリカ・デビューをコンチェルトで果たしLATimesにて絶賛、クラシックラジオ局WQXRにて全米放送、高評を得る。カーネギーホール、リンカーンセンターなどでもリサイタルを行なう。帰国後、各地でのリサイタル、国内すべての主要オーケストラと共演。ロシア、韓国、ニュージーランド、シンガポール、トルコなど、海外でもツアー、マスタークラスなどを行なう。

演奏活動以外にもラジオのパーソナリティーや、NHK-BS2「週刊ブックレビュー」の司会を6年間務めるなど、多岐に亘り活躍。CDはリスト作品、「ラプソディー・イン・ブルー」「パーヴァ・ピアノ作品集」「南米ピアノ作品集」ほか多数発売、レコード芸術誌ですべて特選盤となる。教育活動にも独自の視点で積極的に係わり、シンガポールではリサイタルと共にキッズ・コンサートやマスタークラスを度々開催。監修・演奏を務めたピアノ教則本「DVDですぐわかる かんたんピアノの弾き方」(成美堂出版)は初版1万部、以後増刷中で根強い人気を博す。全180曲8枚組CD「きらきら☆ピアノ」(ビクターエンタテインメント)は高評を得て、リリース後は付随して「きらきら☆子供ワークショップ」やアウトリーチ活動にも力を注いでいる。異ジャンルのアーティストとのコラボレーションも多数行なう。

2014年よりドラマ・パーカッションの堀越彰と「OBSESSION」を結成、クラシックピアノとドラマという珍しい組み合わせで「最小にて最大のオーケストラ」を目指す、新しい活動も展開中。同時にドラマとピアノのワークショップも国内外で開催。バロックから現代作品まで幅広いレパートリーをもち、シャープなタッチからは、気品と色彩感にあふれた音色が放たれる。華のあるダイナミックな演奏で聴衆を魅了し続ける、日本を代表するピアニストのひとりである。京都市立芸術大学教授。

Official HP : <http://www.yukomifune.com>

早稲田大学商学部卒業。東京音楽大学指揮科研究生修了、東京芸術大学指揮科卒業。

これまでに指揮法を遠藤雅古、神宮章、武藤英明、佐藤功太郎、ジェームズ・ロックハート、広上淳一、三石精一の各氏に、ピアノを岩津章子、奏はるひ、藤田雅の諸氏に師事。1999年には芸大在学中に日本フィルハーモニー交響楽団にて巨匠エリック・ハイドシェック氏とマルセル・デラノワ作曲「5月の協奏曲」を協演・指揮(日本初演)。ソリストであるハイドシェック氏は、田部井の読譜能力の高さ、また叙情的でリズムに溢れた演奏に対し、「ヤング・トスカニーニ」と讃えた。2002年には「モーツァルト名曲コンサート」にて再びハイドシェック氏と共演、新日本フィルハーモニー交響楽団を指揮。青柳いづみこ著「ピアニストがみたピアニスト」<Pianistes vus par pianiste>(白水社刊)では、そこでの協奏曲における絶妙な指揮ぶりについて著述されている。2003年には室内合奏団「カメラータ・ジオン」(Camerata Jion)を結成し、ヴァイオリニスト川島成道、チェリスト青木十良の諸氏と共演するなど積極的な活動をしている。2005年にはハイドシェック夫妻との国内ツアーを成功させ話題を呼んだ。そのライブ録音が仏アンテグラル社(Integral Classics France INT 221.156)よりリリースされている。また、漆原啓子、宮田大、林峰男、上村昇、永井和子、佐々木典子、カテリーナショット、宗次郎、クミコ、岡本知高、故江戸家猫八、谷川俊太郎などジャンルを問わず内外の様々なアーティストと共演し、高い信頼が寄せられている。このほか群馬交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティアフィルハーモニック管弦楽団、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉、東京俊成ウィンドオーケストラ、ザ・シンフォニーホールチェンバーアンサンブル等を指揮。2006年にはチェコの名門、ターリヒ室内管を指揮し、モーツァルトの交響曲をレコーディング、そのCDがキングインターナショナルよりリリースされている(STUDIO FLORA B-2704)。

2010年には日本フィルハーモニー交響楽団にて文化庁主催公演(計9公演)を指揮した。2012年より桐蔭学園「第九の会」指揮者を務める。2013年には伝説のチェリストと謳われる、クリスティーン・ワレフスカ女史とドボルジャークのチェロ協奏曲を共演、カメラータジオンを指揮、氏より「偉大な才能」と高く評価された。2018年にはハイドシェック来日50周年記念ツアーを指揮し、その公演は音楽の友誌上等で絶賛される。

また、ピアニストとしても非凡な能力を発揮し、ウィーンフィル首席チェロ奏者フリッツ・ドレシャル(Fritz Dolezal)、勝部太、寺谷千枝子、平松英子諸氏と共演している。2009年には白土文雄(チューリッヒ・トーンハレ元首席コントラバス奏者)のレコーディングにチェンバロ奏者として参加、Harmony社より「モノローク」がリリースされた(HCC2049)。2012年にはドビュッシー生誕150周年に際し、浜離宮朝日ホールにて行われた、文学キャバレ「黒猫」とその仲間たち、また、カワイコンサートサロン「パウゼ」にて行われたドビュッシーフェスティバル2012に出演、青柳いづみこ氏と連弾曲を演奏、好評を博した。2013年には再び白土文雄とのデュオアルバム「Basso d'Amore」をOpus55よりリリースし、稀有な室内楽奏者としての高い評価がなされている(OPFF-10019)。2020年にはカブレ編によるピアノ2台6手版ドビュッシーの「海」のCDをottava社よりリリース、レコード芸術誌特選盤となる。上毛芸術文化賞受賞。

Conductor 田部井 剛



Tsuyoshi Taberi

平塚フィルハーモニー管弦楽団

Hiratsuka Philharmonic Orchestra

「平塚に市民によるオーケストラを」という志をもった平塚市在住の音楽愛好家が中心となり、平成3年3月に設立されました。定期演奏会を含め、年2回の自主公演をベースに、財団法人平塚市文化スポーツまちづくり財団主催の「湘南ひらつか第九のついで」、「平塚市民オペラガラコンサート」、「はじめてのオーケストラ」等に多数出演してきました。また公民館主催のファミリーコンサートや、小中学校での音楽教室などにも積極的に出演し、地域に根ざした音楽活動を行って、地域文化の向上に寄与しています。

